

平成 30 年度
グループホーム 亀天福寿苑
事業報告書

平成 30 年度 グループホーム亀天福寿苑 事業報告書

(1) 基本方針

「一緒に」 「共に」 を大切にし、私たちは支援します。

(運営方針)

- ① ご利用者一人一人が「その人らしく」生活が送れるように支援します。
- ② ご家族と積極的に交流し、「安心」を提供します。
- ③ 地域の方との交流を行い、より良い関係作りを行います。
- ④ 職員の質の向上に向かい、内部・外部研修に積極的に参加します。

(重点目標)

- ① ご利用者、一人一人の尊厳を大切にし、体調管理を行い、全職員が状態把握・情報共有をし、統一した支援を行いました。

一人一人のご利用者・ご家族の希望を聞きながら、計画作成担当者と職員が話し合い、介護計画を立て、支援を行いました。日頃の会話からご利用者の特技や趣味を把握したり、ご家族からお話を伺い、支援を行いました。ご利用者と会話を行う際も、本人様の得意としている事を中心にお話しを行ったり、また、子供の頃にされていた遊びをレクリエーションに取り入れることで、日々、生き活きと過ごして頂けるように努めました。

不安なご様子や家に帰りたい等が見受けられた際は、早めに気づき、お話を聴き、行動を共にするように心がけました。また、職員間でご利用者の状態の情報を共有することで、ご利用者の気持ちに寄り添った支援が出来たと思います。

壁画作りを共に行ったり、回想法を取り入れたり、ご利用者が主体となって話す・動くレクリエーションを提供し、静と動を交えながら機能維持に努めました。また、季節の行事では、お花見ドライブ・夏祭り・敬老会・クリスマス会・おはぎ作り・もちつきを行い、毎月の行事にも力を入れました。

- ② 職員の定着率が増加するように、心掛けました。

定期的なストレスチェックを受けたり、事務所内で相談できる環境作りに努め、職員も些細な事も、会話するようになりました。また、各ユニットに介護経験豊富な職員を配置することで、相談・適切なアドバイスが聞ける環境作りを行いました。担当では、各職員の「やってみたい」「できる」といった気持ちを大切にし、自己決定を促す事で、責任感や意欲を持ってもらうようにしました。また、全職員で業務を把握することで補い合って業務を進めるようになりました。亀天会のブログを活用し、多くの人に知って頂けるように努めました。今後も、イベントや相談しやすい環境作りを行います。また、職員同士がお互いを認める大切さを伝えていきたと思います。

- ③ ご家族に「福寿苑を選んで良かった」という高い満足度を得てもらえるように心がけました。

ご家族の面会時や苑行事参加時・病院受診等、機会がある毎に、ご家族の希望やご利用者の状態の報告を行いました。面会時には、ご利用者の居室でゆっくりと会話して頂けるように配慮を行い、ご家族と外出される際にはゆっくりと外出を楽しんで頂けるような声掛けを行っています。また、各ユニットでご利用者の状態を、申し送りやユニット会を活かして把握し、他のユニットのご利用者の状態については、職員会で把握し、一人でも多くの職員がご家族にご利用者の状態を報告できるように努めました。

季節行事では、ご家族にも参加して頂くゲームを考え、ご家族・ご利用者・職員が一緒に楽しむ行事を行いました。毎月開催している趣味の会や運営推進会議を行う事で、ご家族が顔見知りとなり会話が弾むようになりました。

運営推進会議では、記録を読んで頂いたり、行事や日常の写真を見て頂く事で、ご利用者の様子がよく伝わるように努めました。

入院中のご利用者に対しては、様子伺いを行いながら、地域連携室等と連携を取りながら、ご家族が不安になられないように支援を行いました。

- ④ 地域の方が、気軽に立ち寄れる場所を目指しました。

地域の方々との挨拶では、職員から挨拶を行うようにしました。また、苑周辺の掃除も週に1度行い、溝や道の掃除も行いました。趣味の会や運営推進会議では、地域の方にもお知らせを行い、参加して頂きました。少しずつではありますが、地域の方からも声をかけて下さるようになりました。

高部地区防災会議には必ず出席を行い、地域の方と防災の事を一緒に考えました。また、高部地区のお祭り見学や波止浜文化祭への展示を行いました。今後も、地域の方との交流を行うため、施設での行事への呼びかけや地域で開催している催し物への参加を行っていきたいと思います。

- ⑤ 地域医療との連携がより密に出来るように努めました。

居宅介護支援事業所や地域連携室の方と連絡を取り合い、情報共有を行いました。申し込みの希望がある方に関しては、施設見学を勧め、苑の様子をお伝えしました。また、申し込みのご家族だけでなく、ご本人にも来て頂くようにしました。365日の申し込み・見学が出来る体制を取り、気軽に来られる雰囲気作りを行いました。

ご家族と一緒に受診に行かれる際は、暮らしの状況表や病状経過報告書を作成し、医療関係者と情報共有に努めました。また、入院中のご利用者にも、ご家族が安心できるよう医療と連携を図り、サポートしました。

今後も、居宅介護支援事業所や地域連携室の方と連絡を取り、情報共有に努め、多くの相談が受けられるようにします。

- ⑥ 基本的な知識・技術を身につけ、介護員の質向上を目指しました。

内部研修では、各テーマで担当職員が資料作りを行い、講師で勉強会を行っています。感想や個人目標を立てたり、1か月後の振り返りを行う事で、日々の介護現場で勉強会の内容が活かせるように努めています。また、研修

内容では、介護員の意見を取り入れ、興味や関心のあるテーマを選びました。外部研修も、多くの職員が参加できるように、違う職員が参加するようにしました。また、外部研修で学んだ事を、一人で知識を深めるだけでなく、全体に発表することで、職員全体のスキルアップへ繋がるように心がけました。

(2) 利用者に対するサービス

● 食事

ご利用者の状態に合わせ、普通食からミキサー食・お粥・食器の対応等、安心してお食事がとれるようにしています。好き嫌いのあるご利用者にも、召し上がって頂けるように、工夫して提供し、「美味しい」と言われながら召し上がって頂いています。また、中庭で採れた野菜を活用したり、ご利用者と一緒に漬けた梅干し等を一緒に提供し、会話を楽しみながらお食事をして頂きました。必要以上の食事介助は控え、ゆっくりと食事が出来る雰囲気作りを心がけています。

● 入浴

1人ずつゆっくりとした入浴を行っております。ご利用者の希望を聞きながら、熱め・温めを把握し、気持ちよく入浴して頂けるように配慮しています。入浴時には、職員とご利用者が会話を行う事で日頃フロアではお話しされない事もお話しして下さいます。また、ご利用者の身体状態に応じて、普通浴・特殊浴、シャワーチェアの使用・清拭の実施をしています。脱衣場・浴室の温度やプライバシーに気をつけて介助を行っております。入浴時には、皮膚の状態観察を行い、異常があればすぐに看護師に連絡を取り対応を行っております。

● 排泄の介助

排泄チェック表に基づき、トイレへの声掛けや誘導を行う事でトイレでの排泄をして頂くように取り組んでいます。プライバシーにも配慮を行いながら対応しています。汚染があった場合は、状況に応じて清拭やシャワー浴、入浴を行っております。排便コントロールも排泄チェック表に基づき、看護師と連携をとり下剤の服用や水分摂取、体を動かす等で調整を行っております。環境面についても、壁・便座・床等の掃除を毎日や汚染時には行い、清潔が保てるように行っております。

● 健康管理

毎日のバイタル測定・食事摂取量、体調の変化の有無などを把握し、異常の早期発見に努めました。インフルエンザ流行時期には、早期発見の為、2回の体温測定を行いました。健康状態に異常がある時は、看護師と連携し、看護師の指示のもと、再検、必要時には早期受診による体調悪化予防や治療できるように行いました。また、医療機関と連携し、職員・ご利用者共に定期的な健康診断や予防接種を受けました。季節に留意した温度・湿度の調整や毎日の換気、水分補給を行い健康管理に気をつけました。

- 機能訓練

レクリエーションとして、午前中には体を動かすレクリエーションを取り入れました。毎日のラジオ体操や歩行訓練などを行い、体操後には風船バレーや玉入れやボールを使ったゲームなど楽しみながら体力作りに取り組むことが出来ました。昼食前には、口腔体操も取り入れています。午後からは、カルタやトランプ、オセロやことわざクイズなど脳トレーニングを行ったり、指先を動かすように創作活動として季節の壁画作りや行事で使う創作物の作成に取り組みました。また、ご利用者に合わせて、個別でレクリエーションを取り入れています。日々の生活の中で、台拭き、洗濯物畳みや洗濯物干し、ご自分で洗濯物を居室へ持って帰って頂く等自然に身体を動かして頂いています。また、手を出しすぎない介護を行う事で残存機能を使って頂いています。自由に動いて頂くようにしています。

- 行事

ご利用者には四季を感じて頂けるように、季節に合わせた行事を行いました。夏祭り、敬老会、文化祭、クリスマス会等ご家族と一緒に楽しんで頂ける行事も行いました。大勢が参加される事でより賑やかな行事になりました。餅つき大会やおはぎ作りを行いご利用者から教えていただく行事も取り入れました。各ユニットでは、お誕生日会やおやつ作り、ネームプレート作りを行いました。気候が良い日は戸外食も行っています。お誕生日会では、ご家族に協力してもらい、誕生日プレゼントを用意して頂いています。ご家族からのプレゼントにご利用者も感激されています。プレゼントを渡す際は、ご利用者から渡して頂くことで、お話しも弾み、皆でお祝いが出来る雰囲気を作っています。ご利用者の笑顔が多く見られ、季節を感じて頂く事のできる行事を今後も取り入れていきます。

- ボランティアの受け入れ、地域交流

毎月趣味の会では、おやつ作り、ブローチ作り、ドライブ、文化祭を行いました。外部から講師を招き、ブローチ作りを行いました。ご家族や地区の方も参加されています。11月に開催した文化祭で展示もさせて頂きました。おやつ作りでは、チョコブラウニーを作り、分量を量られたり、混ぜられたりと作業をされながら会話が弾んでいました。波止浜文化祭への作品出展にも参加しました。また、毎月ボランティアの方によるコーラス会を行っています。今年は、フラダンスのボランティアの方も来て頂き、一緒に手の動きを真似られ、楽しまれていました。今後も地域交流が行えるように努めて参ります。

- 防災・防火対策

年に2回、4月と10月に苑内での防災訓練を実施しています。南海地震を想定したり、立地場所から土砂災害への対応の訓練も行いました。防火訓練時には、夜間帯と日勤帯の訓練を行っています。また、水消火器を使用しての消火訓練や防災設備の講習を行っています。防災の知識を高め

るために防災に関しての勉強会を行っています。高部地区における防災会議にも毎回出席させて頂いています。今後も南海地震を視野に入れ、地域の方連携できるよう、より力を入れて取り組みたいと思います。

- 職員研修

外部研修、内部研修の参加により、知識・技術の習得に努めました。年間スケジュールに沿って毎月内部研修を行いました。講師にあたる職員が勉強を行い、発表を行いました。内部研修では、職員の意見を取り入れ、興味・関心のある内容を含むようにしました。外部研修では、2 か月に 1 回開催される今治市グループホーム交流会に積極的に参加しました。今後も知識・技術の習得を行い、ご利用者により良い支援を行うよう努めていきます。



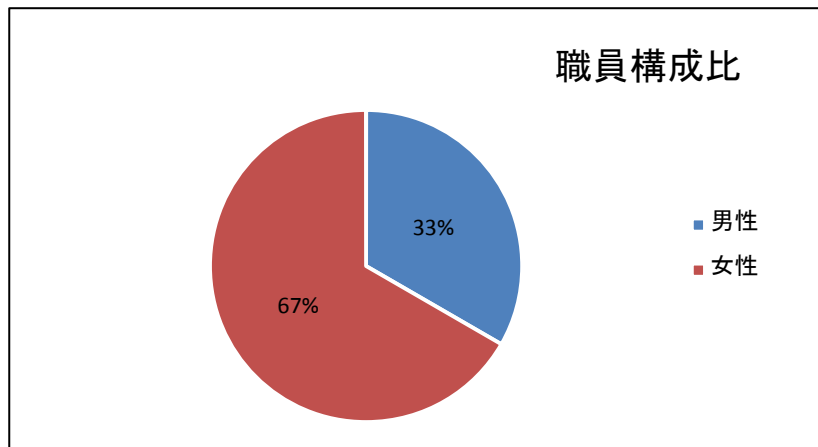


1. 事業所

概要

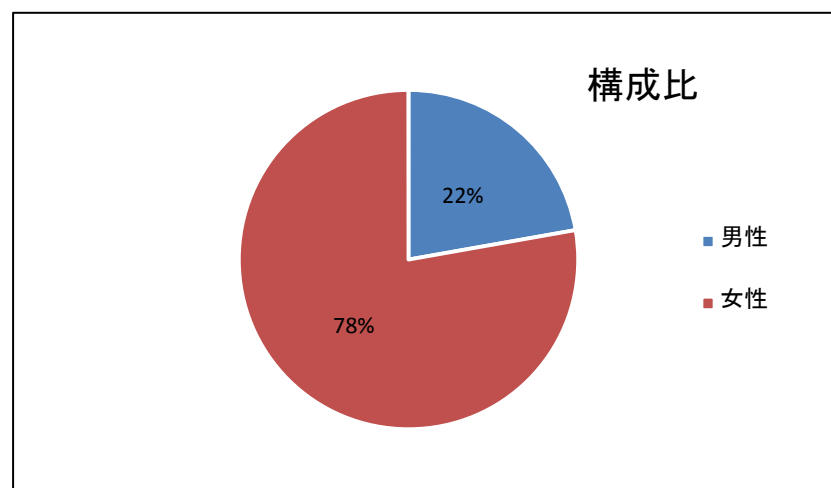
事業所名	グループホーム 亀天福寿苑			
事業所種別	(介護予防)認知症対応型共同生活介護事業所			
事業所住所	今治市高部字基石山甲661番地1			
管理者職名	藤原 裕子			
職員数	男性	女性	総数	
	7	14	21	

(平成31年3月31日現在)



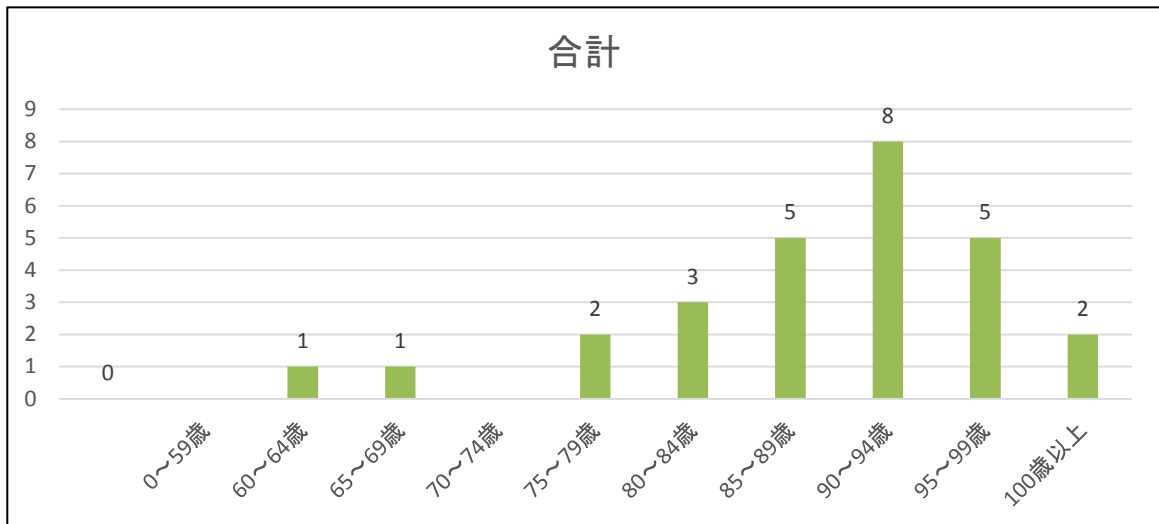
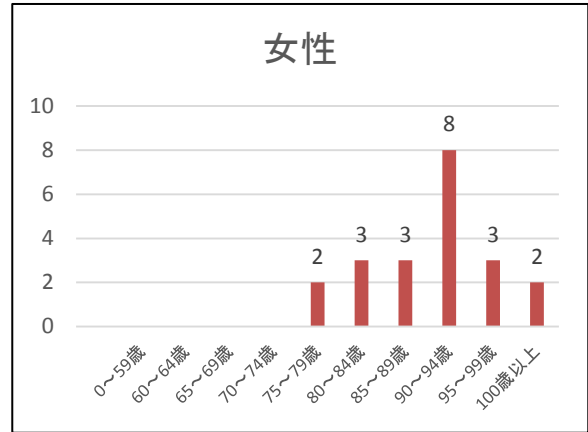
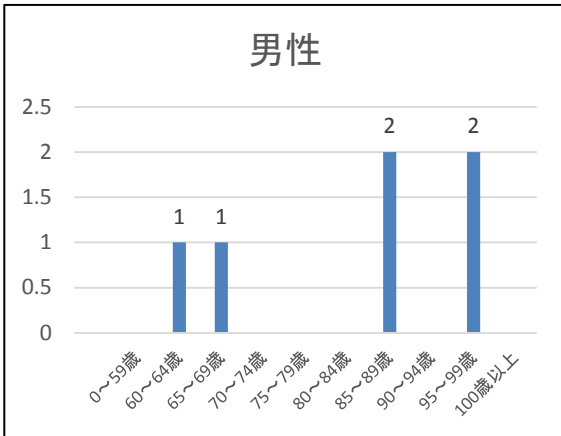
2. 定員及び現在人員(平成31年3月31日現在)

定員	現在人員	性別	
		男性	女性
27名	27名	6	21



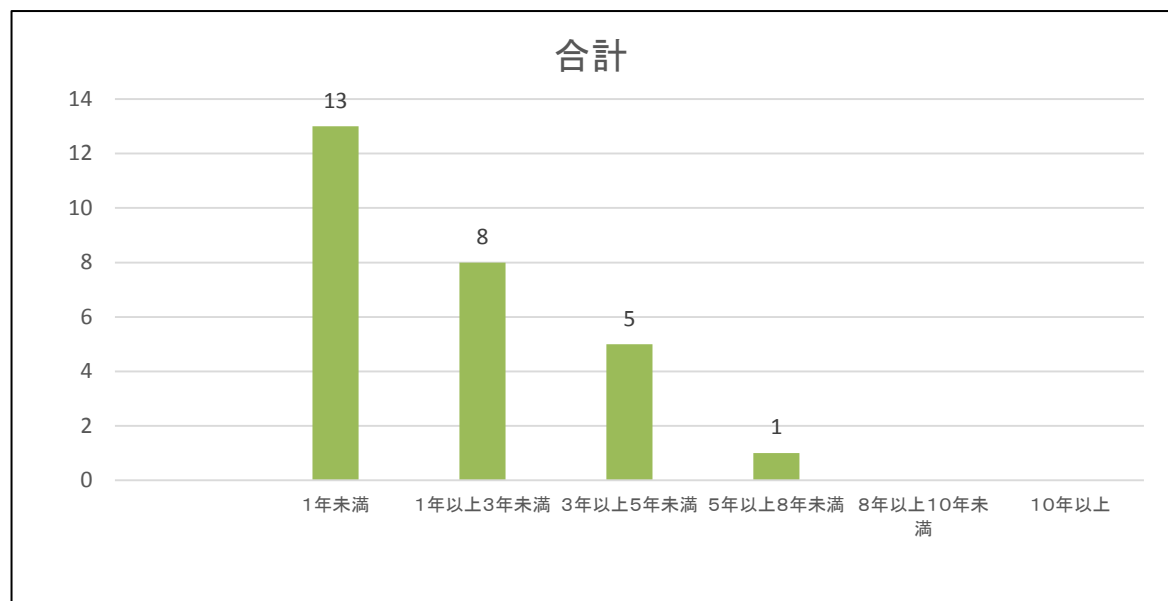
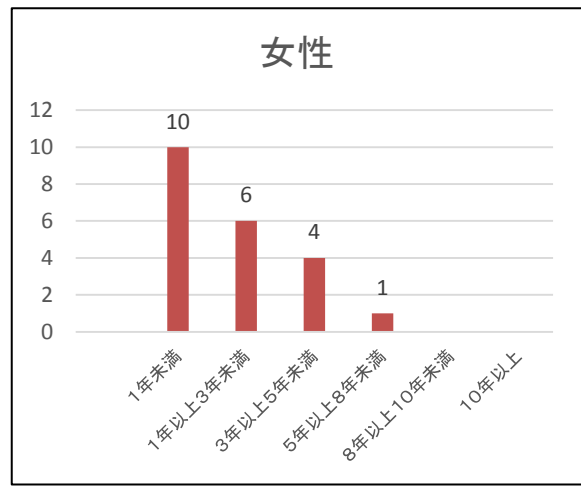
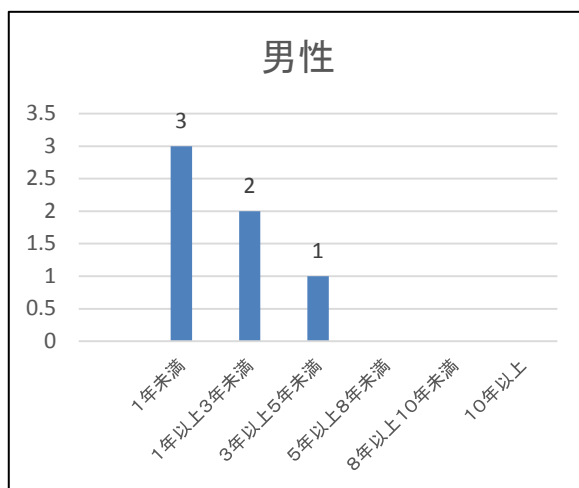
3. 年齢別人員

	男性	女性	合計人数と構成比	
			人数(名)	構成比(%)
0～59歳				
60～64歳	1		1	4
65～69歳	1		1	4
70～74歳				
75～79歳		2	2	7
80～84歳		3	3	11
85～89歳	2	3	5	19
90～94歳		8	8	29
95～99歳	2	3	5	19
100歳以上		2	2	7
合計	6	21	27	100
	最高年齢	最低年齢	平均年齢	男女平均年齢
男性	98	61	78.71	87.17
女性	101	77	89.32	



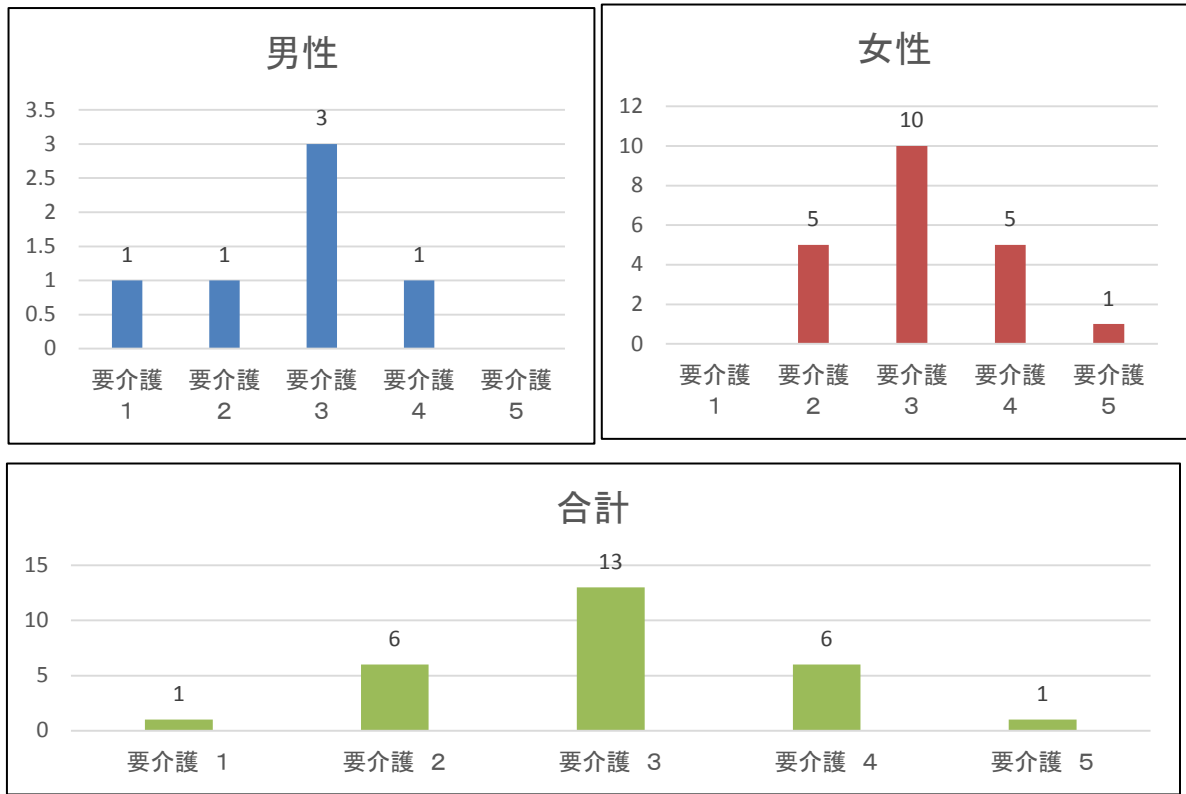
4. 入居期間別人員

	男性(名)	女性(名)	合計(名)	構成比(%)
1年未満	3	10	13	48
1年以上3年未満	2	6	8	29
3年以上5年未満	1	4	5	19
5年以上8年未満		1	1	4
8年以上10年未満				
10年以上				
合計	6	21	27	100
平均入居期間	1年5か月	1年10か月	1年9か月	



5. 平均介護度別人員

	男性(名)	女性(名)	合計	
			人数(名)	構成比(%)
要介護 1	1		1	4
要介護 2	1	5	6	22
要介護 3	3	10	13	48
要介護 4	1	5	6	22
要介護 5		1	1	4
合計	6	21	27	100
平均介護度	2.7	3.1	3	



6. 面会状況(平成30年4月1日～ 平成31年3月31日迄の1年間)

総数	690人
1か月平均	57.5人
最高(1人あたり)	73回
最低(1人あたり)	2回
年間1人平均	25. 6人
1か月1人平均	2. 13人

7. 研修実施状況

【内部研修】

実施月	研修内容	研修講師	出席者数
4月	介護施設各々の特徴を理解する。グループホームの位置付けやあり方を再確認し、ケアに活かす事ができる	介護職員	13名
5月	マナー、接遇の大切さについて理解し、学んだ事をご利用者、ご家族・来客者に実践する	介護職員	13名
6月	食中毒の原因を理解する。食中毒予防のの原則を覚え、実践する	介護職員	13名
7月	身体拘束・虐待・身体拘束の危険性を学び、認知症の方への対応を理解し、実践する	計画作成担当者	12名
8月	コミュニケーションの基本を学び、実践する	管理者	13名
9月	危険予測を行い、色々な「気づき」とヒヤリハットに残していく	介護職員	13名
10月	防犯の知識を身につける	介護職員	12名
11月	防災(地震・風水害)の知識を身につけ。危険予知ができるようになる	計画作成担当者	12名
12月	マスクの着用と出勤時の手洗いを行う	介護職員	12名
1月	レクの必要性を理解し、個々にあったレクを見つけ実践する	介護職員	13名
2月	安易な気持ちで行動を制限せず、対応方法を考え、実践する	介護職員	12名
3月	利用者の状態の申し送りを確実にし、早めに異変に気付く。福寿苑での夜間救急対応を把握する。	介護職員	14名

【外部研修】

実施月	研修種類	研修内容	出席者職種
4月	講義	今治市グループホーム交流会 総会	管理者
6月	講義	認知症の脳の働きについて	介護員
7月	講義・演習	要介護者の口腔ケアと栄養管理	計画作成担当者
8月	講義・演習	今治市グループホーム交流会 生活リハビリとは	介護員
8月	講義	養介護施設従事者等虐待防止研修会	管理者
10月	講義・演習	今治市グループホーム交流会 口腔ケアについて	介護員
12月	講義・実技	今治市グループホーム交流会 介護とは	介護員
1月	講義	介護職員が知っておくべき医療知識	計画作成担当者
2月	講義	口腔ケアの重要性	管理者・計画作成担当者・介護員
2月	講義・実技	今治市グループホーム交流会 救命救急	介護員

8. 行事・クラブ活動及びボランティア受入れ実施状況表

【行事・クラブ活動】

実施月	指導援助者	内容	参加者数
4月	介護職員	お花見(クラレ西条・頓田川)	17名
5月	介護職員	地方祭見学(高部神社)	3名
5月	介護職員	こいのぼり集会	25名
6月	介護職員	カラオケ大会	25名
7月	介護職員	七夕集会	26名
7月	介護職員	ホットケーキを作ろう	26名
8月	介護職員	花火大会	25名
8月	介護職員	夏祭り	39名
9月	介護職員	お彼岸 おはぎ作り	24名
10月	介護職員	運動会	25名
10月	介護職員	敬老会	40名
11月	介護職員	ホットケーキ作り	25名
11月	介護職員	文化祭	76名
11月	介護職員	紅葉ドライブ	6名
12月	介護職員	クリスマス会	55名
12月	介護職員	おもち作り	18名
1月	介護職員	初詣	6名
1月	介護職員	鏡開き	26名
2月	介護職員	節分	25名
2月	介護職員	チョコレートフォンデュ	25名
3月	介護職員	ひな祭り	24名
3月	介護職員	おはぎ作り	26名



【地域交流・ボランティア受入れ状況】

実施月	団体名	内容	参加者数
4月	介護職員	おやつ作り(チョコレートブラウニー)	12名
5月	介護職員	ドライブ(菊間 バラ園)	5名
6月	外部指導者	ブローチ作り	9名
8月	介護職員	夏祭り	40名(内利用者27名)
9月	介護職員	梨狩り	5名
10月	介護職員	敬老会	47名(内利用者27名)
11月	介護職員	文化祭	76名(内利用者26名)
12月	ハーモニー	クリスマス会・フラダンス	55名(内利用者27名)
3月	介護職員	波止浜地区文化祭へ出展	20名
	月／1回 第3木曜日	コーラス会 ボランティア	1人

9. 苦情状況

【苦情状況】

日付	法人との関係	内容
平成30年度		なし



